

鈴木 麗子 議員

市の財政支援で
介護保険料の負担軽減を
「負担軽減策を検討したい」

議員 本年7月、新曽地

新曽地区用水路に陥
没防止の安全対策を

新曽地区用水路に陥没防止の安全対策を
議員 本年7月、新曽地

議員 介護保険料は、市内65歳以上、約1万5千人の第1号被保険者と、40〜64歳までの第2号被保険者の保険料、さらに国や県の補助金を財源としている。今後、介護認定者の増加や介護給付費の伸びが見込まれる中、第4期介護保険料の改定が目前である。

①平成21年度から始まる介護保険事業では、保険者の努力として、本市の財政（一般会計）から一定額の支援を行い、第

1号被保険者の保険料負担軽減を行うことはできないか。②本来、国より調整交付されるべき額は、第1号被保険者の保険料に換算すると幾らか。

福祉部長 ①現在の制度をベースとする



▲市民が日常通行する排水路の安全管理を

さらに高齢者の負担を求める制度も生まれている。本市としても何らかの軽減策を探る時期にきている。今回の提案も含め検討していく。

②第3期の調整交付金相当額は、第1号被保険者1人当たり年額約1万円

都市整備部長 新曽中央地区はまちづくり協議会で用水路の有効活用を検討中であるが、調査を行い、陥没が起きた箇所の敷き、土の流出防止を図りたい。さらに、豪雨の後など、安全パトロールの強化は必要と考える。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では9月8日から3日間、18人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。

とどろきたい



▲図書館の視聴覚室で開かれている「とどろきたい」



一般質問

いつでも医療費無料

の拡大を

手塚 静枝 議員

「助成制度の創設を検討する」

議員 ①本市は、乳幼児医療費無料の対象年齢を、入院とともに小学校就学前まで段階的に拡大してきた。しかし、全国や県内の実施状況を見ると、義務教育課程児童まで拡大するところも増えている。本市も、入院は中学生まで、通院は小学生まで医療費無料の年齢拡大を早急に実施すべき



▲これから始まる小学校生活が楽しみです
(芦原小の就学児健診)

厚生労働相は「健診の経済的負担が重いことから、最大14回まで増やすことも検討する」と表明した。本市も国に先んじて、妊婦無料健診を14回へと拡大はできないか。

ついて要望があることは認識している。限られた財源で、さまざまな支援施策を行っている中で、子ども医療費助成の創設を今後検討していきたい。

電子市役所の取り組みは

議員 本市は、国のIT戦略に沿って、電子市役所を推進している。情報システムの効率的、効果的な構築や見直し、ITコスト削減をどのように図っていくのか伺う。

総務部長 情報システム導入に当たっては、事前評価・導入・運用の各段階で内容の精査を行っている。業務の質の向上や住民サービスの向上などを把握し、適切な導入を図っていく。

中名生 隆 議員

長寿入浴券に代わる

選択肢は

「実施に向けて検討する」

議員 健康長寿入浴券は、本市の東側に7つの銭湯が偏在しており、西側の市民に不公平なサービスである。理容・美容・tocoバス券等、多様な選択制度とすべきである。

市施設に
市民ギャラリーを

議員 ①文化会館展示室を市内在住在勤の文化芸術活動者に低料金で利用しやすい制度に改正を。②福祉の杜第2期整備事業の中に市民ギャラリーの検討は。



▲広く理美容にも利用できるといいですね

市民生活部長

①芸術・文化活動推進に、展示室の柔軟な使用形態や料金体系を検討する。福祉部長 ②施設利用者を対象としたギャラリーを検討していきたい。

空き店舗ギャラリー

議員 空き店舗活用方法として、市民ギャラリーにふさわしい店舗活用は。

市民生活部長 商店会と地域の交流の場として、市民ギャラリーでにぎわいづくりに期待する。

美術館の建設計画を

議員 人々の心に潤いをもたらす中心拠点として、美術館の建設計画は。

総務部長 美術館建設について、これからの調査、市民の意向等を参考として、次期総合振興計画に盛り込めるか検討する。

議員 メセナ協議会などの支援を得て、企業と行政の協働による美術館建設の検討は。

総務部長 機会があれば、ぜひお話を伺い、検討したい。